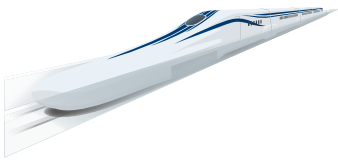
代表質問

三重県リニア基本戦略の策定について

長田　隆尚　議員（草莽／亀山市選出）

問　令和５年度当初予算には、リニア開業が本県の発展につながるよう、活用の考え方や目指すべき将来像を整理する「三重県リニア基本戦略（仮称）」を策定するための経費が計上されています。現在は、概略ルート（３km幅）・概略駅位置（５km幅）が示される「計画段階環境配慮書」が公表されていませんが、どのような内容の戦略となるのでしょうか。基本戦略の方向性とスケジュール感について、知事の考えを聞かせてください。

答　令和５年度に策定予定の「三重県リニア基本戦略」は、リニアによってもたらされる効果や県内駅の設置により、自分たちの暮らしがどう変わっていくかを示すことで、県民の皆さんがリニアの有用性や利便性について認識してもらえるものにしたいと思っています。環境影響評価手続きが開始され具体的なルート・駅位置が決定した後は、道路ネットワークや駅前広場の在り方など、より具体的な整備、活用についての計画をまとめていきたいと考えています。



その他の質問事項

○コロナ禍における消費拡大施策を振り返って

○道路事業における歩道、自転車道の設置について

ほか

▲代表質問（長田隆尚 議員）

一般質問

交通信号機用電球製造終了への対応について

石田　成生　議員（自由民主党／四日市市選出）

問　交通信号機用の白熱電球の製造が、５年後の２０２８年に終了します。県は、これまでも信号機のＬＥＤ化を進めていますが、その普及率は、令和３年度末時点で、車両用は52．３％（全国41位）、歩行者用は51．０％（全国36位）です。今後、ＬＥＤ化を計画的かつ早急に進める必要があると思いますが、県の考えをお聞かせください。

LEDの信号灯器

答　県内の１万７千灯余りの信号灯器が白熱電球であり、少なくとも２０２８年度末までに、全ての信号灯器をＬＥＤ化する必要があると考えています。全てをＬＥＤ化するためには約50億円の予算が必要となることから、今後の国の動きを踏まえ、補助金等の積極的な予算確保に取り組んでいきます。

その他の質問事項

○県立高校の入試における再募集のその後について

○少子化対策について

ほか

▲一般質問（石田成生　議員）

紀伊半島エリアを対象とする大規模広域防災拠点と連絡する国道の整備について

東　豊　議員（草莽／尾鷲市・北牟婁郡選出）

問　奈良県五條市において整備が進められている大規模広域防災拠点は、南海トラフ地震等の大規模災害に備え、奈良県のみならず紀伊半島エリアを広くカバーする方針のようです。三重県の沿岸部からこの防災拠点につながる道路を一本でも多く確保するべきだと考えますが、尾鷲市から奈良へ続く国道４２５号の道路改良の必要性について、県の考えをお聞かせください。

答　国道４２５号の尾鷲北ＩＣから奈良県境までの区間は①「三重県広域受援計画」等の対象に指定されていませんが、大規模災害発生時における多重性、代替性の確保の観点から、重要な道路です。今年度は３箇所で災害防除施設工事を実施しており、今後も、対策が必要な残り49箇所の整備を進めていきます。

国道 425 号

その他の質問事項

○水産王国みえの復活に向けた今後の水産振興について

○尾鷲市における大規模集成材工場の誘致をふまえた、森林・林業振興について

ほか

▲一般質問（東　豊　議員）

高齢者等の移動支援について

今井　智広　議員（公明党／津市選出）

問　歩行に不安を抱く高齢者等が使うシルバーカーと呼ばれる手押し車があります。シルバーカーを車から出し入れするのに苦労するところ、病院の駐車場の近くに車椅子と共にシルバーカーが置かれていてとても助かったとの声を聞きました。さまざまな方が利用する県有施設においても、シルバーカーの設置を進めるべきだと思いますが、知事の考えをお聞かせください。

答　シルバーカーは、高齢者等の移動をサポートし、利用することで歩行が楽になります。このため、歩行に不安を感じる方が安心して快適に施設を利用できるよう、県有施設での導入に向けて前向きに対応していきます。

その他の質問事項

○デジタル社会の推進について

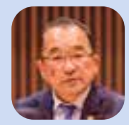
○健康増進の取組及び救命救急体制のさらなる充実について

ほか

▲一般質問（今井智広 議員）

代替教職員を確保できない現状の改善

藤根　正典　議員（新政みえ／熊野市・南牟婁郡選出）



問　教職員が産休・育休、病休等を取得する場合、代替教職員の確保が必要となりますが、令和５年２月時点で55人分の代替教職員を確保できず欠員となっています。この現状は、教職員の過重労働を生み、学校の教育機能を低下させ、子どもたちの教育を受ける権利にも関わる問題です。この現状をどう改善していくのか、考えをお聞かせください。

答　全国的に教員のなり手が不足し、代替教員として配置する臨時的任用講師の登録者数が少なくなっていますので、通常１年とする任期を最大３年間とする任期付き育休代替職員制度を新たに設けるなど、代替教員の不足に対応しています。今後も、代替教員の確保に努めるとともに、教員を志す人が増えていくよう取り組みを進めます。

その他の質問事項

○②複式教育の現状とその改善の方策

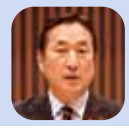
○南部地域・東紀州の観光振興について

ほか

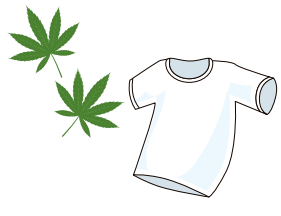
▲一般質問（藤根正典　議員）

③GX（グリーン・トランスフォーメーション）時代における産業用大麻の振興について

中嶋　年規　議員（自由民主党／志摩市選出）



問　麻薬成分がほとんどなく薬物として乱用される心配や危険性がない産業用大麻は、無農薬で栽培できるため環境負荷が低く、成長が早いためＣＯ２の吸収・固定化効果が高いことに加えて、その繊維はさまざまな素材の代替となり得ます。非常に高い将来性と可能性がある産業用大麻の振興について、今後どのように取り組んでいくのか、県の考えをお聞かせください。



答　産業用大麻などの植物由来の素材の活用が進むことを脱炭素化に向けたチャンスと捉え、環境や社会への配慮に前向きに取り組む事業者に対して技術開発面での支援等に取り組みます。

また、大麻栽培に関する法改正等の動きを注視しつつ、栽培農家の要望に丁寧に対応していきます。

その他の質問事項

○公共水域における放置船の解消や対策を強化する条例制定を

○Ｇ７三重・伊勢志摩交通大臣会合とその後に向けて

ほか

▲一般質問（中嶋年規 議員）